

夢に大きく近付いた アパレル・工場宣言！

長年の念願がかなって、工場とアパレルが一緒になります。新しい時代に対応する、新しいスタイルです。流通がぐくんと短縮。こだわりの物造りを実現します。



株式会社パインニット
代表取締役 松田伝悦
同東京オフィス
ゼネラルマネージャー 宇土寿和

どうぞ宜しくお願いします。

新発想の新体制

スタート

この度、ニット製造工場の株式会社パインニットとジョイントし、新しい発想の流通短縮化を実現すべくアパレル・工場としてスタートすることになりました。

まる四年間、株式会社ビー・エッチ・エフインターナショナルをご愛顧・応援頂き本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

株式会社ビー・エッチ・エフインターナショナルは存続いたしますが、残務整理が終了次第休眠にさせて頂きます。三月一日よりの業務は株式会社パインニットに移行して行います。場所は今まで通り南青山のオフィスです。

..... ORIGINAL BRAND by PINE KNIT

bhf international CLASSIC

ビー・エッチ・エフ インターナショナル クラシック

[ハイファッションの基本となるセミ・ベーシックの提案]

ハイクオリティの素材と確かな技術に支えられた丁寧な作り
知的で時代を反映するシルエットとスタイリング
着ていただいたお客様に、着心地が良くもう1枚も2枚も色違いでほしいと言われるような価値あるものづくり



両方の持っているいいものを出し合って、今まで以上に皆様にご喜ばれる会社になりたいと思います。

したがってこれを機会にBHFブランドは大きく変わります。『エエー工場のブランド?』と単略しないで下さい。

製造工場はアパレルの指示通り作るのが仕事。今まで数多くの世界的デザイナーの商品をはじめ、長年のものづくりの経験を生かし、今度は自社メイン・ブランドとして一層企画を充実させ、企画・製造・販売の強みを活用して上質なものづくりを進めていきます。

もの造りの技術とこだわりにかけては、ヨーロッパを初め他社には絶対に負けない自信があります。パインニットの底力をご披露しますので、新しいBHFを是非御覧いただきたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願い・ご指導のほどよろしく申し上げます。



Cashmere

カシミヤ 初イカシ

[カシミヤもありますではなく、カシミヤのためのブランド]

だれもが憧れるカシミヤ、そのカシミヤにこだわります
原料、風合い、色、形。カシミヤニットでこれだけの型数はちょっとお目にかかったことはなかったと思います



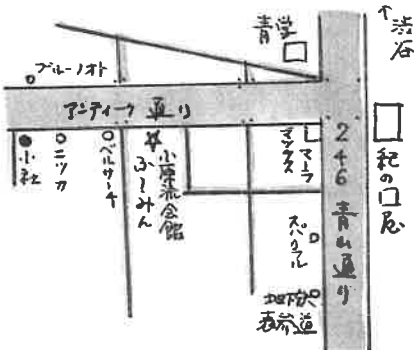
南青山山甲介隈

この界隈でタクシーの運転手さんにすぐ分かって貰えるのが小原流会館。生け花の小原流のビルですが、お花の家元はこんな大きなビルが建つのかと感心します。

花よりだんご、今回はその小原流会館の地下にある中華風・家庭料理、か〜みんをご紹介します。

昼時はもちろん夜も並んで待つのが難点ですが、並ぶ価値はあると思います。味の好みは人それぞれ、貧乏人の私としては中華で一品のときは『五目焼きそば』のワンパターン気味があるんですが、一流といわれる有名店にも決して引けを取らない味と値段だと思っています。もちろんほかの料理グッドです。

席から見渡せる調理場の料理人をはじめ従業員の、リンとしたプライドのある立ち振る舞いにも好感が持てます。だからよけいに美味しく感じられるのかも知れません。独りのときなど、調理場を見ながら自分の料理が出来上がって来るのを待っているのも楽しいものです。



拝啓、時下益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。
この度、BHFとバイニットの双方の見通しと希望が計らずとも一致し、ジョイントする話がまとまりました事をご報告致します。これは我々にとって大きな喜びとするところです。

昨今、海外からの製品輸入の増加と国内市場の低迷、また流通の変化で自らが時代に則して変化しなければ生き残れない時代に入っております。

英国やイタリアなど、かの国も我々と同じように生産の大半を発展途上国に奪われるという厳しい経験を経て来たようです。いま生き残っている企業は、企画・生産・販売と一貫した機能を持った会社ばかりです。近い将来はその形態にと計画を密かに進めてまいり、いま実現しました。

製造メーカーの我々がアパレルという偉業種の仲間を迎えることによりお互いに刺激あって、アパレル・メーカーとして業界に新風を吹かせたいと思っております。

今後とも皆様の一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。 敬具

平成八年三月吉日

株式会社 バイニット
代表取締役 松田 伝悦

夢の実現に一歩近付きました

アパレル・工場



早い話、アパレルと工場が一緒になる話です。

『ニットに関わっていくのなら、最終は自分の工場を持ちたい』と呪文のように言い続けてきた夢がついに実現しました。

それとも思っていた以上の好結果です。

念願がかなって、工場や機械を持たたところで、自分ですぐ動かせるはずがない、また動いてもいい物造りには長い経験と熟練が必要な厳しいプロの世界です。

そこでお互い得意な分野を持ち寄ってジョイントすることで、企画・製造・販売という一貫した機能を持ったアパレル工場が出来ました。これこそロンブスの卵です。

嫁入り先のバイニットは、BHFが発足したときからメインの工場でグレードの高い商品を作ってもらっていました。
今でこそ生意気にもニットに関して一端のお話ができるようになりましたが、何にも知らない私がかから教えて頂いた恩人です。
そういう経過からしても一番の望みの相手と一緒にすることが出来て大変喜んでいきます。
オフィスは今まで通りの住所です。

アパレルと工場が一緒になって、これではかのアパレルよりも一歩先んずる事が出来ました。
このアパレル工場という強みを最大限に生かして皆様に満足していただける商品を提案していきたいと思えます。
一プラスを三にも五にも出来ると思えます。

本のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でした。チャンスがあったら是非お読み

カリブの真珠

バハマ

南海の楽園はバステル・カラー

例年に比べて寒さの厳しいこの冬、話だけでも暖かいとこの話をしましょう。

青い海に白い砂浜、サンサンと輝く太陽、椰子の葉をゆらすさわやかな風、そして色鮮やかなトロピカル・フラワーやフルーツ。



南海の楽園の基本は世界中ほとんど同じですね。その魅力や違いは、そこに住む人々や文化が加わっただけのフィーリング。そのフィーリングが自分の感性としくりくるところが自分の楽園でしょう。でも決して一つだけではない。

バリならバリの人々やバリ・ヒンドゥーの宗教に根付いた生活や文化。ハワイはアメリカの豊かさ、アカぬけたセンスと清潔感。アカブルコならやっぱリラテンの陽気さではないでしょうか。

そして今回のバハマの良さは何と言ってもカリビアン達の人懐っこさ。それとピンクやクリーム色にペイントされたおもちゃのような家々に代表されるライト感覚です。

バハマへはニューヨーク、アトランタ、マイアミなど多くの都市から入れますが、いずれにしてもバハマに着くまでのアプローチが素晴らしいんです。飛行機の窓から見下ろすカリブ海にサンゴ礁に囲まれた島が次々と現れます。島が近付くと紺碧の色から、海が浅くなるに連れてブルー、ライトブルーへと微妙に変わります。

黒いリーフに囲まれた内海はエメラルドグリーンから白までの淡い色の組み合わせ。

そして真っ白な砂浜の内側は熱帯の緑。

このブルーとグリーンとの調和した様は、まるで『南海の楽園』という無声映画のプロローグのようです。

カリブの楽園に來た実感と期待を高めてくれます。

首都ナッソーは、首都という厳めしさからほど遠く、ディズニー映画のロケのセットといった感じの可愛らしい街です。

デューティー・フリーの店が並ぶメインストリート。お店もバステルカラーにペイントされ、バザーが大きくなったような通りです。

海外旅行！という大袈裟な買い物の感覚でなく、買い物嫌いな私でも童心に帰って楽しみながらお店をヒヤカシながらの散歩できる通りです。

ノンビリ歩いているとすぐ街はずれ。

もちろん高層ビルなどはありません。

ナッソーで一番大きな建造物は、たぶん港に停泊中の豪華客船でしょう。

観光スポットとして

は、特別これと言った見所はないけど、感じ所はいっぱいあると思えます。

でも我々日本人は、何にもしない時間を過ごすには練習が必要かも知れません。

